

## 配信資料に関する技術情報（気象編）第 200 号

～平成 17 年 10 月 5 日実施の飛行場警報、飛行場気象情報  
および空域気象情報の改善について～

当庁では、航空気象情報に関して、重複を排し重要な情報をより適確かつ簡潔に発表する観点から、以下のとおり運用改善を実施します。

### 1 変更の概要

#### (1) 飛行場警報

必要に応じて付加しているいくつかの項目について、記述を省略します。

#### (2) 飛行場気象情報

対象を 4 項目に絞り、より適確かつ簡潔に発表することとします。

#### (3) 空域悪天情報 (ARMAD)

火山の噴煙に関する ARMAD を廃止し、SIGMET 情報に統一します。

また、ARMAD の対象位置の表記を緯度経度表記に統一します。

### 2 実施予定日時

平成 17 年 10 月 5 日(水) 00 UTC を予定しています。

### 3 変更内容の詳細

別添資料をご参照下さい。

## 飛行場警報・飛行場気象情報・空域悪天情報等の運用改善について

当庁では、航空気象情報に関して、重複を排し重要な情報をより適確かつ簡潔に発表する観点から、以下のとおり運用改善を平成17年10月5日(00UTC を予定)から実施します。

### 1. 飛行場警報

国際民間航空機関(ICAO)で取り決められている国際民間航空条約第3付属書「国際航空のための気象業務」の第73号修正(平成16年11月発効)では、飛行場警報をよりわかりやすく、より簡潔に提供すべきであるとして、世界共通の飛行場警報のひな型(テンプレート)が勧告されました。我が国もこの方式に準拠する方向で準備を進めていますが、当面、簡潔な情報提供を実施すべきとする趣旨に則り、現行フォーマットの範囲内で飛行場警報の運用改善を実施することとします。

この運用では、現在は必要に応じて付加している以下の項目について、ICAOの新たなテンプレートには対応項目が無いことから、今後は原則として記述を省略します。

- ① 「気象的要因」
- ② 警報対象期間の後の「その後の見通し」
- ③ 高潮警報の「満潮時刻の予想」

また、「1時間降水量50ミリ、3時間降水量100ミリ」等、場合により複数示している量的表現は、最も重要な1つの値のみを提示することとします。

以下の例では、取り消し線部が今後記述を省略する部分です。

和 文	R J X X 飛行場 強風 警報 2005年 第01号 04月07日03時50分UTC ○×航空測候所発表  (本文)  これから07日09時00分UTCにかけて 南の風が、最大34ノットの見込みです。 45ノットのカストを伴う見込みです。 <del>その後風は次第に弱まる見込みです。</del>  <del>(気象的要因)</del> <del>低気圧が空港付近に近づく</del> <del>大気の状態が不安定になる</del>
--------	---

英文	<p>RJXX AERODROME GALE WARNING NO. 01 ISSUED AT 070350UTC APR 2005 XYZ AVIATION WEATHER STATION</p> <p>((TEXT))</p> <p>SOUTH-LY STRONG WIND MAX 34KT WITH GUSTS 45KT EXP 070350/070900UTC <del>AFTER 070900UTC STRONG WIND WKN</del></p> <p><del>(RMKS)</del> <del>LOW WILL COME NEAR THIS AP</del> <del>STABILITY OF ATOMOSPHERE WILL BECOME WORSE=</del></p>
----	--

和文	<p>R J X X 飛行場 高潮 警報 2005年 第01号 04月07日03時50分UTC ○×航空測候所発表</p> <p>((本文))</p> <p>これから07日09時00分UTCにかけて 空港周辺の潮位は東京湾平均海面上 最大5.0メートルに達する見込みです。 <del>空港周辺の満潮時刻は07日05時30分UTC頃です。=</del></p>
----	---

英文	<p>RJXX AERODROME HIGH TIDE WARNING NO. 01 ISSUED AT 070350UTC APR 2005 XYZ AVIATION WEATHER STATION</p> <p>((TEXT))</p> <p>HIGH TIDE OF 5.0M OVER MEAN SEA SFC OF TOKYO BAY EXP 070350/070900UTC <del>TIME OF HIGH TIDE NEAR THIS AP EXP AT ABOUT 070530UTC=</del></p>
----	---

## 2. 飛行場気象情報

今回の警報の運用改善に合わせ、飛行場気象情報についても、飛行場予報等では表現できない現象に対象を絞り、より適確かつ簡潔に発表することとします。

なお、フォーマットやヘッダーについては変更ありません。

## 2-1. 今後の飛行場気象情報の対象とそれぞれの運用

### ① 台風

風・雨・高潮の警報は発現の1～2時間前を目途として発表しますが、台風によりこれらの現象が警報基準を超えると予想した場合、その予告的な情報として、「台風に関する飛行場気象情報」を発表します。

### ② 雷

飛行場に影響を及ぼす雷雲を予測した場合に、雷雲の現況と発雷の始終の時刻を発現の1～2時間前を目途に「雷に関する飛行場気象情報」として発表します。

### ③ ウインドシヤー

航空機からの観測報告があった場合やドップラーレーダーでウインドシヤーやマイクロバーストが観測された場合に、「ウインドシヤーに関する飛行場気象情報」を発表します。また、地域特性としてウインドシヤーが発生しやすい気象状態が予想される場合にも同情報を発表します。

### ④ 大雪

現行どおり、空港毎の基準により情報を発表します。

## 2-2. 飛行場気象情報の並列発表の廃止

従来は、現象毎に情報を発表し、同時に複数の飛行場気象情報が有効となる場合があります。今後は、常に最新の情報にその時点で注目すべき項目をすべて記述することとしますので、飛行場気象情報は最新の一通だけを参照していただければよいことになります。

〈参考〉 飛行場気象情報の対象の変更のまとめ(下線について継続し、その他は廃止する)

飛行場気象情報の対象	対応	備考
<b>台風</b>	<b>継続</b>	台風接近時に警報基準に達する現象が予測される場合に、予告的な情報として提供。
強風	廃止	飛行場予報として量的予想を発表しているため。 なお、34kt 以上の場合には警報を発表。
<b>ウインドシヤー</b>	<b>継続</b>	
大雨	廃止	飛行場予報として、雨の強度予想を発表しているため。 なお、危険性が高まった場合は警報を発表。
<b>大雪</b>	<b>継続</b>	
高潮	廃止	台風に関する情報に内容を含めて運用する。 なお、危険性が高まった場合は警報を発表。
<b>雷</b>	<b>継続</b>	
視程障害、低い雲	廃止	飛行場予報として量的予想を発表しているため。
火山の噴煙	廃止	航空路火山灰情報として提供しており、また、飛行場に降灰が予想される場合は飛行場予報で報じているため。

### 3 空域悪天情報(ARMAD)

#### 3-1 火山の噴煙に関する ARMAD の SIGMET 情報への統合

火山の噴煙については、平成 16 年 1 月に SIGMET 情報の運用を改善し、噴煙高度にかかわらず発表することとしました。この結果、ARMAD と SIGMET で全く同じ内容が提供されています。

今後は、情報の輻輳を避けるために、火山の噴煙に関する ARMAD(ヘッダー: WVJP71) は発表しないこととします。今後は SIGMET 情報(ヘッダー: WVJP31)をご利用下さい。

#### 3-2 ARMAD の対象位置の表記の統一

ARMAD の対象となる「位置」は、現在、位置通報点・緯度経度・空港地点略号・航行援助施設名・府県名・山や山脈の名称等で表記されていますが、予報については SIGMET 情報と同様の緯度経度表記(度または度分)に統一します。

ただし、実況については、これまでどおり航空機からの通報をそのまま記述します。

<緯度経度表記の例(表記を統一する部分をアンダーラインで示しています)>

[雷の例]

新	FRQ TS FCST IN AREA BOUNDED BY <u>N3630E13950 N3740E14230 N3720E13950 AND N3630E13950</u> MOV ESE 5KT INTSF / RADAR ECHO TOP FL380=
現	FRQ TS FCST IN AREA BOUNDED BY <u>RJTU SNAIL CHUJI AND RJTU</u> MOV ESE 5KT INTSF / RADAR ECHO TOP FL380=

[山岳波の例]

新	MOD TO SEV TURB FCST <u>IN AREA BOUNDED BY N3800E14030 N3800E14230 N4030E14300 N4030E14100 AND N3800E14030</u> FL020/090 STNR NC / <u>MTW</u> = 注: ” / ” 後の記事中に、山岳波(MTW)を明示する。
現	MOD TO SEV TURB FCST <u>E AREA FM OUU MOUNTAIN RANGE TO 70NM-100NM</u> FL020/090 STNR NC=